

芦屋市 呉い町 ひろげよう つなげよう 防災の輪

地区防災計画

ご近所づきあいから始まる命のきずな

◆ 避難場所等

芦屋市の避難施設の種類		呉川町の近くでは
避難所	住宅が被害を受け、居住の場所を失った人や避難勧告などが発せられたとき、緊急避難の必要がある人を収容する施設	宮川小学校・県立芦屋高校・海技大学校・竹園集会所など
津波一時避難施設	津波から避難する時間がないときに避難する、一時的な施設	保健福祉センター・木口記念会館・藤和ライプタウン芦屋呉川町ルミナンスなど
福祉避難所	高齢者や障がいのある人など、配慮を必要とする要配慮者が一時的に生活する避難所	保健福祉センター・エルホームなど
広域避難場所	災害時に周辺地区から避難者を収容し、災害後に発生する市街地火災などから避難者を保護する公園、緑地	芦屋市総合公園など



◆ 防災活動の内容

(1) おもな年間の活動予定

- ・防災訓練(年1回・毎年12月の第1土曜日)
- ・防災セミナー(年1回)
- ・学習会(年に2回程度)
- ・総会(年1回) 全体会(年に3回程度)
- ・役員会(月1回)
- ・防災・防犯ニュース発行
- ・SNS (Facebook・X (旧Twitter)) での情報発信



◆ 計画の見直し

(1) 計画の見直し期間

計画は適宜見直しをしていきながら、概ね5年程度で計画を更新します。

(2) 見直しについての留意事項

計画更新の際には、できるだけ町内会の各方面にも参加を促し、幅広いメンバーで協議をすすめます。

呉川町自主防災・防犯会



&



随時更新しています。

発行：芦屋市呉川町自主防災・防犯会

◆ 基本的な考え方

(1) 基本方針

自助と共助の観点から住民の相互協力の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、防災についての知識、技能を習得し、地震その他の災害の防止および軽減を図るとともに、関係機関と緊密な連携のもとに災害時に自主的な防災体制ができるように、地域が主体の活動計画です。

◆ 地区の特性

地区内人口 2,650人(男性 1,246人・女性 1,404人)

地区内世帯数 1,217世帯

令和7年(2025年)2月1日現在

(1) 自然特性

地域の自然特性は、南北に長くおおむね平坦地であり、海拔2m程度と市内でも比較的低い地域です。また町の東側には南北に宮川が流れており、平成30年(2018年)9月に起こった台風21号の影響で、町の一部が川の越水により被害を受けました。したがって、浸水による水害の危険性が懸念されています。

(2) 社会特性

地域の社会特性は、世帯のほぼ半数は、集合住宅に居住しており、阪神淡路大震災後に住んでいる方も多く、新旧の住民が混在しています。また地域内に、芦屋市の保健福祉センターがあり、災害時には福祉避難所として機能します。また同センターのそばには、市立あしや温泉があり、天然温泉が湧きます。隣町の伊勢町には、市立図書館、谷崎潤一郎記念館、美術博物館などがあり、文化ゾーンと接しています。

(3) 災害特性

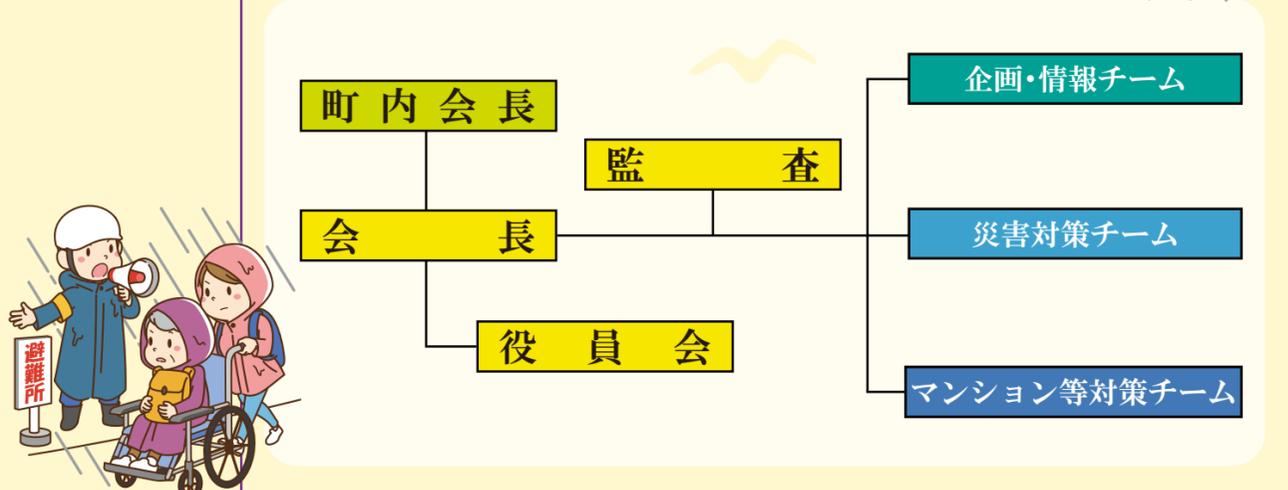
地域の災害特性は、地域内の多くは浸水想定地域に指定されています。既述のとおり平成30年(2018年)9月の台風21号の影響で、町の一部が川の越水により被害を受けました。



◆ 計画の対象地区の範囲



◆ 組織図



◆ 平常時・災害時のおもなチーム別活動

チーム	平常時	災害時
企画・情報	・住民に対する情報提供	・住民に対する情報提供
	・関係機関からの情報収集訓練	・関係機関からの情報収集
	・被災状況の把握と報告訓練	・被災状況の把握と報告
	・避難状況の把握と報告訓練	・避難状況の把握と報告
	・災害活動協力者の把握	・災害活動協力者との連携
	・防災訓練・セミナーなどの企画	・防災訓練・セミナーなどの運営
	・行政・関係機関との連携	・各班からの報告のとりまとめ
災害対策	・近隣自治会との連携	・各班間の調整
	・事業者等との連携	・事業者等への報告・連携
	・要配慮者（要援護者）との連携	・要配慮者（要援護者）の救出
	・救出・救護訓練	・負傷者の応急手当
	・AED（心肺蘇生法）などの救命訓練	・負傷者状況の把握
	・消火器材の整備点検	・消火活動の援助
	・消火訓練	・被災状況の把握と報告
	・住民への避難場所の周知	・避難状況の把握
	・避難訓練	・避難所開設と運営
	・避難所開設訓練	・避難所開設と運営
マンション等対策	・炊飯機器・関連資器材の整備点検	・食糧・水・物資の分配
	・炊き出し訓練	・炊き出し活動
	・マンション等との連携・交流	・マンション等との連携・状況把握

◆ 当面の取り組み ◆

- 発災時の初動体制の準備
- 要配慮者支援の推進
- マンション対策の推進
- その他の推進
 - ・子どもへのアプローチ（例：キッズ防災隊）推進
 - ・出前講座の立ち上げ検討
 - ・オンライン対応の検討
 - ・防災備品の整備検討
 - ・事業者等との防災協定の協議

